

日誌

日誌 03月24日

慶應義塾大学

学籍番号(52152011)

氏名(田中 靖子)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

| | | |
|----------------------------------|---|---------|
| 出欠状況 | 出席 | |
| 欠席、遅刻・早退の理由 | | |
| 1日のスケジュール | 8:00 | |
| | | |
| | 9:00 | 介護報告書 |
| | | |
| | 10:00 | 薬歴記載 |
| | | |
| | 11:00 | フィードバック |
| | | |
| | 12:00 | ご飯 |
| | | |
| | 13:00 | 服薬指導 |
| | | |
| | 14:00 | 処方監査 |
| | | |
| | 15:00 | 薬局のお金の話 |
| | | |
| 16:00 | 処方監査 | |
| | | |
| 17:00 | 振り返り | |
| | | |
| 場所 | 薬局(よもぎ薬局) | |
| 関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数 | がん(1)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(0)名 | |
| 服薬指導を実施した疾患とその人数 | がん(1)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(0)名 | |

日誌

日誌 03月24日

慶應義塾大学

学籍番号(52152011)

氏名(田中 靖子)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

| | |
|----------|--|
| 具体的な実習内容 | <p><実習目標> 共感の言葉と的確な情報提供</p> <p><実習内容> 服薬指導 フィードバック 処方監査 薬歴記載</p> <p><実施した内容・調べたこと> パーキンソン病 振戦 筋固縮 無動 姿勢反射障害 ジスキネジア レボドパ増量した時に出やすい パーキンソン病の患者さん食事した際に寝てしまう リベルサス 初回服薬指導の際に気をつけること</p> <p><考察・感想> 今日は、パーキンソン病の患者さんの薬剤増量時の注意点として、ジスキネジアについて学んだ。特に、薬を増量する際には、症状の改善と副作用のバランスを考慮しながら調整する必要があることを改めて実感した。 また、リベルサスの初回服薬指導についても学びました。リベルサスの服薬指導の際には、起床後にコップ半分の水で服薬し、30分間は飲食を避けるという点を伝えなければならないことを学んだ。 また、膵臓がんの患者さんの服薬指導を行なった。膵臓がんの切除をした後は、インスリンの絶対的な量が減ってしまうことが分かった。</p> |
|----------|--|

日誌

日誌 03月24日

慶應義塾大学

学籍番号(52152011)

氏名(田中 靖子)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

| | | | |
|---------------|-----------------|---|----|
| 実習に関する能力 | No | 項目 | 選択 |
| | 薬学臨床の基礎 | | |
| | 1 | 【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕 | ○ |
| | 処方せんに基づく調剤 | | |
| | 2 | 【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕 | |
| | 3 | 【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕 | ○ |
| | 4 | 【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕 | |
| | 5 | 【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕 | |
| | 6 | 【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕 | |
| | 薬物療法の実践 | | |
| | 7 | 【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕 | ○ |
| | 8 | 【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕 | |
| | 9 | 【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕 | |
| | 10 | 【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕 | |
| 実務実習記録による評価項目 | No | 項目 | 選択 |
| | チーム医療への参画 | | |
| | 1 | 【②地域におけるチーム医療】 | |
| | 地域の保健・医療・福祉への参画 | | |
| | 2 | 【①在宅(訪問)医療・介護への参画】 | |
| | 3 | 【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】 | |
| | 4 | 【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】 | |
| | 5 | 【④災害時医療と薬剤師】 | |
| 独自評価 | No | 項目 | 選択 |

日誌

日誌 03月24日

慶應義塾大学

学籍番号(52152011)

氏名(田中 靖子)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

| | |
|-------------------------------|---|
| 実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点) | ヒドロキシクロロキン、マラリアの薬だと思っていたが、エリテマトーデスにも使われること。 |
| 添付資料 | |
| 薬剤師のコメント | あれ？服薬指導でがんの患者さんだっと思ったと思いますが、ちょっとでもいいので何か感じたこと書いて欲しいです。 智弘 登録者：小川 智弘 |
| 添付資料(薬剤師) | |

日誌

日誌 03月25日 慶應義塾大学 学籍番号(52152011) 氏名(田中 靖子)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

| | | |
|----------------------------------|---|----------------|
| 出欠状況 | 出席 | |
| 欠席、遅刻・早退の理由 | | |
| 1日のスケジュール | 8:00 | |
| | | |
| | 9:00 | 軟膏 |
| | | |
| | 10:00 | 在宅の患者さんに電話体調確認 |
| | | |
| | 11:00 | 薬歴記載 |
| | | |
| | 12:00 | 休憩 |
| | | |
| | 13:00 | 服薬指導 |
| | | 介護報告書 |
| | 14:00 | 薬歴記載 |
| | | |
| | 15:00 | 処方監査 |
| | | |
| 16:00 | フィードバック | |
| | | |
| 17:00 | 振り返り | |
| | | |
| 場所 | 薬局(よもぎ薬局) | |
| 関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数 | がん(1)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(1)名、その他(0)名 | |
| 服薬指導を実施した疾患とその人数 | がん(1)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (2)名、感染症(0)名、その他(0)名 | |

日誌

日誌 03月25日

慶應義塾大学

学籍番号(52152011)

氏名(田中 靖子)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容

＜実習目標＞

共感の言葉と的確な情報提供

＜実習内容＞

服薬指導

フィードバック

処方監査

薬歴記載

在宅 患者さん 電話

＜実施した内容・調べたこと＞

バクタ配合錠 免疫抑制剤 ニューモシスチス肺炎発症抑制 週3日

ハップ剤 テープ剤 厚さ パップ剤 かぶれやすさ テープ剤

テープ剤 貼り方 真ん中切る

点眼剤 ゲル化製剤 間隔 10分以上

DOAC アゾール系抗真菌薬 出血

＜考察・感想＞

今日は、しもやけと肌の痒みが気になる患者さんに服薬指導を行なった。アレルギーの症状も、しもやけの症状も予防が大切だということで、早めの受診と薬の使用をした方が良いことを伝えようと思った。そして、外用薬や目薬の使い方は、内服薬よりも使用方法に違いがあることが分かったので、勉強しようと思った。また、患者さんは、自分で薬を減らしても大丈夫なのかということ気にしていたので、風邪薬やアレルギーの薬の増減について学び直そうと思った。また、在宅の患者さんの体調を電話で確認した。前日に薬を飲み忘れて、吐き気と下痢があるようだったので、ステロイドの離脱症状かトアラセットの副作用かと思ったが、胃腸炎の可能性が高いということだった。

日誌

日誌 03月25日

慶應義塾大学

学籍番号(52152011)

氏名(田中 靖子)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

| | | | |
|---------------|-----------------|---|----|
| 実習に関する能力 | No | 項目 | 選択 |
| | 薬学臨床の基礎 | | |
| | 1 | 【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕 | ○ |
| | 処方せんに基づく調剤 | | |
| | 2 | 【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕 | |
| | 3 | 【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕 | |
| | 4 | 【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕 | ○ |
| | 5 | 【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕 | |
| | 6 | 【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕 | ○ |
| | 薬物療法の実践 | | |
| | 7 | 【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕 | ○ |
| | 8 | 【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕 | |
| | 9 | 【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕 | |
| | 10 | 【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕 | |
| 実務実習記録による評価項目 | No | 項目 | 選択 |
| | チーム医療への参画 | | |
| | 1 | 【②地域におけるチーム医療】 | |
| | 地域の保健・医療・福祉への参画 | | |
| | 2 | 【①在宅(訪問)医療・介護への参画】 | |
| | 3 | 【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】 | |
| | 4 | 【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】 | |
| | 5 | 【④災害時医療と薬剤師】 | |
| 独自評価 | No | 項目 | 選択 |

日誌

日誌 03月25日

慶應義塾大学

学籍番号(52152011)

氏名(田中 靖子)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

| | |
|-------------------------------|---|
| 実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点) | 外用薬の使い方を患者さんに説明できるように学び直そうと思った。 |
| 添付資料 | |
| 薬剤師のコメント | <p>在宅の患者さんの状態が安定しないと不安ですね。 患者さんや家族の身になるとそんな時に電話があるだけでもちょっと気持ちが落ち着くのではないのでしょうか？good jobです。</p> <p>ロジカルシンキングというやつで、症状の原因が薬にある可能性を考えてくれました。すごくよいことだと思います。 というもの、医師は症状から病気を考えられるというのですが薬剤師は症状から副作用、あるいは今回のように効果不十分を考えられるので、ちょっと目線が異なることが大切なのかもしれません。 ぜひいろいろ考えて教えてください。</p> <p>登録者：小川 智弘</p> |
| 添付資料(薬剤師) | |

日誌

日誌 03月26日

慶應義塾大学

学籍番号(52152011)

氏名(田中 靖子)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

| | | |
|----------------------------------|---|-------|
| 出欠状況 | 出席 | |
| 欠席、遅刻・早退の理由 | | |
| 1日のスケジュール | 8:00 | |
| | | |
| | 9:00 | 介護報告書 |
| | | |
| | 10:00 | 服薬指導 |
| | | |
| | 11:00 | 薬歴記載 |
| | | |
| | 12:00 | 薬歴記載 |
| | | |
| | 13:00 | 休憩 |
| | | |
| | 14:00 | 介護報告書 |
| | | |
| | 15:00 | 介護報告書 |
| | | |
| 16:00 | フィードバック | |
| | | |
| 17:00 | 振り返り | |
| | | |
| 場所 | 薬局(よもぎ薬局) | |
| 関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数 | がん(1)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(1)名 | |
| 服薬指導を実施した疾患とその人数 | がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(1)名 | |

日誌

日誌 03月26日

慶應義塾大学

学籍番号(52152011)

氏名(田中 靖子)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

| | |
|----------|--|
| 具体的な実習内容 | <p><実習目標> 共感の言葉と的確な情報提供</p> <p><実習内容> 服薬指導 フィードバック 処方監査 薬歴記載 在宅 患者さん 電話 疑義紹介</p> <p><実施した内容・調べたこと></p> <p>コートリル コルチゾール分泌に合わせて夕方半錠 ランドセン レストレスレッグス症候群 酸化マグネシウム 飲み合わせ プラトンポンプ阻害薬</p> <p><考察・感想> 今日は、服薬指導の際、患者さんに耐性が出る薬のこと、空腹時に飲んでも良い薬のこと、夜中の過活動膀胱、の悩みなどを伺った。患者さんが、なぜその質問をしたのか、意図が汲み取れない時は、何か困ってることありますか、など聞いて、答え合わせをするだけでなく意図を汲み取れるようになりたいと思った。また、過活動膀胱炎のベタニスは、50mgを1日1回の処方、これ以上増やす選択肢がないようだったので、他にになにかできることがあるか考える。耐性が出る薬については、部分的にしか知らなかったもので、調べる。そして、在宅の患者さんの報告書を記載した。2ヶ月分の経過を書くときに、時系列に沿って患者さんの体調を文章にするのが意外と難しくて、手こずってしまった。報告書を書くときに、痛みの頻度や増悪時の判断が大切だと思ったので、これから在宅に行く時は、それに気をつけて患者さんとお話ししようと思った。</p> |
|----------|--|

日誌

日誌 03月26日 慶應義塾大学 学籍番号(52152011) 氏名(田中 靖子)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

| | | | |
|---------------|-----------------|---|----|
| 実習に関する能力 | No | 項目 | 選択 |
| | 薬学臨床の基礎 | | |
| | 1 | 【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕 | ○ |
| | 処方せんに基づく調剤 | | |
| | 2 | 【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕 | |
| | 3 | 【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕 | ○ |
| | 4 | 【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕 | |
| | 5 | 【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕 | |
| | 6 | 【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕 | |
| | 薬物療法の実践 | | |
| | 7 | 【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕 | ○ |
| | 8 | 【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕 | |
| | 9 | 【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕 | |
| | 10 | 【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕 | |
| 実務実習記録による評価項目 | No | 項目 | 選択 |
| | チーム医療への参画 | | |
| | 1 | 【②地域におけるチーム医療】 | |
| | 地域の保健・医療・福祉への参画 | | |
| | 2 | 【①在宅(訪問)医療・介護への参画】 | |
| | 3 | 【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】 | |
| | 4 | 【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】 | |
| | 5 | 【④災害時医療と薬剤師】 | |
| 独自評価 | No | 項目 | 選択 |

日誌

日誌 03月26日 慶應義塾大学 学籍番号(52152011) 氏名(田中 靖子)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

| | |
|-------------------------------|---|
| 実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点) | 患者さんの質問の意図を聞けばよかった。 |
| 添付資料 | |
| 薬剤師のコメント | 今日の服薬指導はいろいろ考えさせられますね。20分弱だったかな？ すみません、触れている案件の分量がやや多いのでしょうか？多すぎないようにとは考えているのですが、、、 患者さんがせつかくいろいろと考える種をくれた例だったので今日のうちに返せるものは返したかったのですが時間うまくみ合わず申し訳ないです。 忘れずに明日薬歴のチェックしましょう。 登録者：小川 智弘 |
| 添付資料(薬剤師) | |

日誌

日誌 03月27日

慶應義塾大学

学籍番号(52152011)

氏名(田中 靖子)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

| | | |
|----------------------------------|---|---------|
| 出欠状況 | 出席 | |
| 欠席、遅刻・早退の理由 | | |
| 1日のスケジュール | 8:00 | |
| | | |
| | 9:00 | 化学反応式 |
| | | |
| | 10:00 | フィードバック |
| | | |
| | 11:00 | 調剤 |
| | | |
| | 12:00 | 休憩 |
| | | |
| | 13:00 | 介護報告書 |
| | | |
| | 14:00 | 在宅訪問 |
| | | |
| 15:00 | 薬歴記載 | |
| | | |
| 16:00 | 処方監査 | |
| | 薬歴記載 | |
| 17:00 | 服薬指導 | |
| | | |
| 場所 | 薬局(よもぎ薬局) | |
| 関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数 | がん(1)名、高血圧症(1)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(1)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(1)名 | |
| 服薬指導を実施した疾患とその人数 | がん(1)名、高血圧症(1)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(1)名 | |

日誌

日誌 03月27日

慶應義塾大学

学籍番号(52152011)

氏名(田中 靖子)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容

<実習目標>

服薬指導の前に話す内容をイメージする

<実習内容>

服薬指導

フィードバック

処方監査

薬歴記載

在宅 患者さん 電話

介護報告書作成

<実施した内容・調べたこと>

酸化マグネシウム 飲み合わせ 化学反応式

プロトンポンプ阻害薬 H2ブロッカー 酸化マグネシウムの作用低下

NaClできるので、高血圧の患者さん、腎機能低下している患者さん 気をつける

脳腫瘍術後 てんかん様症状が出る。嚥下機能確認する。

グーフィス 胆汁酸トランスポーター阻害?モルヒネ作用低下 インドメタシン

も

ランドセン 半減期23h tmax 2h

薬薬連携

エブランチル 適応 腎性高血圧症

<考察・感想>

今日は、服薬指導の際に新規の薬について説明しようとしたが、一包化の中身を把握できていなかったことと、退院時から使用していたことを理解できていなかったこと、薬の外見の認識が出ていなかったことから、頭がごちゃごちゃになってしまった。

処方内容がどのように変わっているのか、何を最初に話すのか、何を聞くべきなのか、基本的なことを服薬指導の前に整理して、イメージをしてから望むようにしたい。

また、薬歴記載する際に客観的な情報が少なくなってしまうことがあるため、スケールを使ったり、患者さんに記録をつけてもらったり、時間の詳しい情報を伺うようにしたい。

また、それぞれの薬を調べる時に、ガイドラインを見ていなかったなので、これからは見れるように勉強していきたい。

日誌

日誌 03月27日

慶應義塾大学

学籍番号(52152011)

氏名(田中 靖子)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

| | | | |
|---------------|-----------------|---|----|
| 実習に関する能力 | No | 項目 | 選択 |
| | 薬学臨床の基礎 | | |
| | 1 | 【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕 | ○ |
| | 処方せんに基づく調剤 | | |
| | 2 | 【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕 | |
| | 3 | 【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕 | ○ |
| | 4 | 【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕 | ○ |
| | 5 | 【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕 | ○ |
| | 6 | 【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕 | ○ |
| | 薬物療法の実践 | | |
| | 7 | 【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕 | ○ |
| | 8 | 【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕 | ○ |
| | 9 | 【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕 | |
| | 10 | 【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕 | |
| 実務実習記録による評価項目 | No | 項目 | 選択 |
| | チーム医療への参画 | | |
| | 1 | 【②地域におけるチーム医療】 | |
| | 地域の保健・医療・福祉への参画 | | |
| | 2 | 【①在宅(訪問)医療・介護への参画】 | |
| | 3 | 【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】 | |
| | 4 | 【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】 | |
| | 5 | 【④災害時医療と薬剤師】 | |
| 独自評価 | No | 項目 | 選択 |

日誌

日誌 03月27日

慶應義塾大学

学籍番号(52152011)

氏名(田中 靖子)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

| | |
|-------------------------------|---|
| 実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点) | 薬歴記載の際に時間がかかったり、休憩の時間を見るのを忘れてしまったり、時間の管理ができていなかったため、都度時間を決めて行動する。 |
| 添付資料 | |
| 薬剤師のコメント | |
| 添付資料(薬剤師) | |

日誌

日誌 03月28日 慶應義塾大学 学籍番号(52152011) 氏名(田中 靖子)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

| | | |
|----------------------------------|---|-----------|
| 出欠状況 | 出席 | |
| 欠席、遅刻・早退の理由 | | |
| 1日のスケジュール | 8:00 | |
| | | |
| | 9:00 | 精神疾患の話 |
| | | コレステロールの話 |
| | 10:00 | フィードバック |
| | | |
| | 11:00 | 麻薬 |
| | | |
| | 12:00 | 休憩 |
| | | |
| | 13:00 | 薬歴記載 |
| | | |
| | 14:00 | 薬歴記載 |
| | | |
| 15:00 | 服薬指導 | |
| | | |
| 16:00 | 薬歴記載 | |
| | しびれの話 | |
| 17:00 | 振り返り | |
| | | |
| 場所 | 薬局(よもぎ薬局) | |
| 関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数 | がん(0)名、高血圧症(1)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (1)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(0)名 | |
| 服薬指導を実施した疾患とその人数 | がん(0)名、高血圧症(1)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (1)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(0)名 | |

日誌

日誌 03月28日

慶應義塾大学

学籍番号(52152011)

氏名(田中 靖子)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容

<実習目標>

服薬指導の前に話す内容をイメージする

<実習内容>

服薬指導

フィードバック

処方監査

薬歴記載

<実施した内容・調べたこと>

高コレステロール血症

高TG血症 ペマフィブラート スタチン併用ok 腎機能低下患者OK

ペマフィブラート 糖尿病の患者さんに使えるか

α 1遮断薬 排尿困難治療薬 起立性低血圧に注意

抗菌薬 副作用 1~2日 下痢 消化器症状

麻薬 譲受証を渡す 譲渡証をもらう

オキノーム 速効性 オキシコドン 長時間

合剤に変更 プロトコル

糖尿病性神経障害 ガイドライン

手足の痺れ セレコキシブ長期服用?なぜ?

狭窄症 足の痺れ

<考察・感想>

今日は、精神疾患の治療方針について話した。薬を使うか使わないか、話を聞いてほしい人もいるということが分かった。また、陰性症状や陽性症状によって使う薬が異なってくることや、依存性が出る薬、家族に希死念慮が出る薬もあることが分かったので、精神疾患の薬の使い分けについてちゃんと勉強しようと思った。

日誌

日誌 03月28日

慶應義塾大学

学籍番号(52152011)

氏名(田中 靖子)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

| | | | |
|---------------|-----------------|---|----|
| 実習に関する能力 | No | 項目 | 選択 |
| | 薬学臨床の基礎 | | |
| | 1 | 【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕 | ○ |
| | 処方せんに基づく調剤 | | |
| | 2 | 【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕 | |
| | 3 | 【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕 | ○ |
| | 4 | 【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕 | ○ |
| | 5 | 【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕 | ○ |
| | 6 | 【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕 | ○ |
| | 薬物療法の実践 | | |
| | 7 | 【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕 | |
| | 8 | 【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕 | |
| | 9 | 【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕 | |
| | 10 | 【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕 | |
| 実務実習記録による評価項目 | No | 項目 | 選択 |
| | チーム医療への参画 | | |
| | 1 | 【②地域におけるチーム医療】 | |
| | 地域の保健・医療・福祉への参画 | | |
| | 2 | 【①在宅(訪問)医療・介護への参画】 | |
| | 3 | 【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】 | |
| | 4 | 【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】 | |
| | 5 | 【④災害時医療と薬剤師】 | |
| 独自評価 | No | 項目 | 選択 |

日誌

日誌 03月28日

慶應義塾大学

学籍番号(52152011)

氏名(田中 靖子)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

| | |
|-------------------------------|----------------------------------|
| 実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点) | 服薬指導の際にもっと聞きたいことがあったのに、聞き忘れてしまった |
| 添付資料 | |
| 薬剤師のコメント | |
| 添付資料(薬剤師) | |

日誌

日誌 03月29日

慶應義塾大学

学籍番号(52152011)

氏名(田中 靖子)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

| | | |
|----------------------------------|---|--|
| 出欠状況 | | |
| 欠席、遅刻・早退の理由 | | |
| 1日のスケジュール | 8:00 | |
| | | |
| | 9:00 | |
| | | |
| | 10:00 | |
| | | |
| | 11:00 | |
| | | |
| | 12:00 | |
| | | |
| | 13:00 | |
| | | |
| | 14:00 | |
| | | |
| | 15:00 | |
| | | |
| | 16:00 | |
| | | |
| 17:00 | | |
| | | |
| 場所 | | |
| 関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数 | がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(0)名 | |
| 服薬指導を実施した疾患とその人数 | がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(0)名 | |

日誌

日誌 03月29日 慶應義塾大学 学籍番号(52152011) 氏名(田中 靖子)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

| 具体的な実習内容 | |
|----------|--|
| | |

日誌

日誌 03月29日

慶應義塾大学

学籍番号(52152011)

氏名(田中 靖子)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

| | | | |
|---------------|-----------------|---|----|
| 実習に関する能力 | No | 項目 | 選択 |
| | 薬学臨床の基礎 | | |
| | 1 | 【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕 | |
| | 処方せんに基づく調剤 | | |
| | 2 | 【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕 | |
| | 3 | 【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕 | |
| | 4 | 【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕 | |
| | 5 | 【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕 | |
| | 6 | 【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕 | |
| | 薬物療法の実践 | | |
| | 7 | 【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕 | |
| | 8 | 【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕 | |
| | 9 | 【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕 | |
| | 10 | 【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕 | |
| 実務実習記録による評価項目 | No | 項目 | 選択 |
| | チーム医療への参画 | | |
| | 1 | 【②地域におけるチーム医療】 | |
| | 地域の保健・医療・福祉への参画 | | |
| | 2 | 【①在宅(訪問)医療・介護への参画】 | |
| | 3 | 【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】 | |
| | 4 | 【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】 | |
| | 5 | 【④災害時医療と薬剤師】 | |
| 独自評価 | No | 項目 | 選択 |

日誌

日誌 03月29日 慶應義塾大学 学籍番号(52152011) 氏名(田中 靖子)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

| | |
|-------------------------------|--|
| 実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点) | |
| 添付資料 | |
| 薬剤師のコメント | |
| 添付資料(薬剤師) | |

日誌

日誌 03月30日

慶應義塾大学

学籍番号(52152011)

氏名(田中 靖子)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

| | | |
|----------------------------------|---|--|
| 出欠状況 | | |
| 欠席、遅刻・早退の理由 | | |
| 1日のスケジュール | 8:00 | |
| | | |
| | 9:00 | |
| | | |
| | 10:00 | |
| | | |
| | 11:00 | |
| | | |
| | 12:00 | |
| | | |
| | 13:00 | |
| | | |
| | 14:00 | |
| | | |
| | 15:00 | |
| | | |
| | 16:00 | |
| | | |
| 17:00 | | |
| | | |
| 場所 | | |
| 関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数 | がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(0)名 | |
| 服薬指導を実施した疾患とその人数 | がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(0)名 | |

日誌

日誌 03月30日 慶應義塾大学 学籍番号(52152011) 氏名(田中 靖子)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

| 具体的な実習内容 | |
|----------|--|
| | |

日誌

日誌 03月30日

慶應義塾大学

学籍番号(52152011)

氏名(田中 靖子)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

| | | | |
|---------------|-----------------|---|----|
| 実習に関する能力 | No | 項目 | 選択 |
| | 薬学臨床の基礎 | | |
| | 1 | 【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕 | |
| | 処方せんに基づく調剤 | | |
| | 2 | 【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕 | |
| | 3 | 【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕 | |
| | 4 | 【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕 | |
| | 5 | 【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕 | |
| | 6 | 【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕 | |
| | 薬物療法の実践 | | |
| | 7 | 【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕 | |
| | 8 | 【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕 | |
| | 9 | 【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕 | |
| | 10 | 【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕 | |
| 実務実習記録による評価項目 | No | 項目 | 選択 |
| | チーム医療への参画 | | |
| | 1 | 【②地域におけるチーム医療】 | |
| | 地域の保健・医療・福祉への参画 | | |
| | 2 | 【①在宅(訪問)医療・介護への参画】 | |
| | 3 | 【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】 | |
| | 4 | 【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】 | |
| | 5 | 【④災害時医療と薬剤師】 | |
| 独自評価 | No | 項目 | 選択 |

日誌

日誌 03月30日

慶應義塾大学

学籍番号(52152011)

氏名(田中 靖子)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

| | |
|-------------------------------|--|
| 実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点) | |
| 添付資料 | |
| 薬剤師のコメント | |
| 添付資料(薬剤師) | |